

# 『時事直言』 No.1588 2023年1月24日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[twitter 日本語] t\_masuda2019/

[instagram] t\_masuda2019/

[mail] [info@chokugen.com](mailto:info@chokugen.com)

[twitter 英語] T\_Masuda\_eng/

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

## 日銀と市場の戦い

、、と言う言葉を連発する主要メディアや市場専門家は、丁度価値観が異なるアメリカ社会と中国社会が同じだと錯覚しているようなものだ。

2015 年代だと思うが、本誌で「財政健全化不要論」と題して、「政府は株式会社ではないのだから、バランスシートなど無視して、国民が必要とするならいくら借金をしてもいい」と述べたことがある。

日銀はジャスダックに上場している株式会社だが、あくまでも形式であって、政府が55%の株を保有して事実上政府機関であるように、本来利益を追求する法人ではない。

昨年12月20日に日銀が長期国債の利回り上限を0.25%から0.50%に引き上げたことから、外人仕手筋が10年物国債に売りを浴びせ、国債価格を下げ、利回りを0.5%以上にし、円安を加速させた。

日銀が0.5%の指値で買ってくるのに合わせて安く買った10年物国債を高く売ることではこたま儲けた。

仕手筋は「日銀に勝った」と喜んだが、日銀の仕手筋無視の不動の姿勢で円安は止まり、長期債利回りも元に戻り、結局仕手筋は高く買った国債を安く売る羽目になり「市場は日銀に負けた」。

ゼロサム(100万円儲けた人がいれば必ず100万円損した人がいる)は政府にも日銀にも通用しないことを知るべきである。

返礼を求めず、与え続ける世界もあることを知れば「日銀と市場の戦い」などと言う言葉は存在し得ないのである。

マスコミや市場専門家と一緒に騒ぐのではなく、増田塾でモノを知らない人に同情しながら儲けるのがいいのではないか。

### 先行受付中！増田俊男の小冊子 Vol.131

#### <それでも日本はこれから良くなる>

現在増田俊男の小冊子 Vol. 131 は先行受付中です。内容は \*はじめに 日本人に生まれるなら、先ず日本を知ること\* 日本国憲法は誰のモノか\* 日銀は誰のモノか\* 日本の財務省は誰のモノか\* 世界の基軸通貨ドルは大丈夫なのか\* 東西分断は誰の為か\* 日本にとって米中冷戦とは何か\* 終わりに それでも日本は不戦勝、世界で最も幸せな日本人などです。価格は、1冊 4,800 円(税・送料別)。

詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313、HP: <http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。